

【注意】

- 記載例は、過去のプロジェクトを参考にアレンジしたフィクションです。
- 記載の具体的なイメージをもってもらう趣旨です。必ずしも審査基準を満たす、この記載であれば審査結果が優良であることを保証するものではなく、修正要請がなされる可能性があることをご留意下さい。
- 今後、記載の指針等が予告なく変更されている場合があり、本ガイドが対応できていない場合があります。

提出日：2026年2月10日

1 クラブ名：松下G大好き ロータリークラブ（共同・グループ申請は列記して下さい）

【ポイント】

- 共同、グループ申請は、全てのクラブの名称を並べて記載してください。
(例) ●●、××、◇◇ ロータリークラブ
- 申請形態により、支給される補助金の上限、クラブ拠出の割合が異なりますのでご留意下さい。

2 プロジェクト名：神奈川と東北の高校生の交流会 災害・松下ガバナーを知る

【ポイント】

- 一言で言うと「これ」、最も重視しているキーワードを入れると分かりやすい。
- 他のプロジェクトと区別できよう、主体、場所、行動内容等の要素を意識下さい。

[申請確認事項] (※該当する項目を■にして下さい)

3 繼続または新規：■新規 繼続 (過去補助金受給なし 前回補助金受給年月日 _____ 年)

【ポイント】

- 新規プロジェクトが優先。
- 過去の補助金プロジェクトは、実施後3年以上経過での申請が必要。
- 繰り返しではなく、新しく更新されていることが必要。その点につき事前相談が必要。

4 プロジェクト対象：人道的 ■教育的 一般奉仕事業 環境・地域貢献
地域イベント 海外プロジェクト

【ポイント】

- 「授与と受諾の条件」のロータリー財団の使命の要素がプロジェクト対象に含まれることが必要となっていますが、上記6つ対象の範囲を厳密に限定する趣旨でなく、プロジェクトの内容を踏まえ、いずれの対象に近しいか検討して選択下さい。
- 海外プロジェクトは、事前視察・実施確認の準備が必要。
- 奨学金支給を内容とする際は、事前相談が必要です。

5 受領資格の確認：下記2項目は地区補助金プロジェクトの必須条件です。

- 財団の使命に関連したプロジェクトです。
- ロータリアンが積極的に参加します。

【ポイント】

- 具体的な説明は、11プロジェクトの概要の記載に盛り込んで下さい。

- 6 制約事項の確認：A：下記項目に該当するプロジェクトには補助金が利用することはできません。
- チケット代・入場料（障がい者への支援を除く） 史跡の標識・モニュメント
文化的イベント 募金活動 コンサート 金銭だけの協賛金
講演会 ロータリー行事 土地・建物購入 使途無指定の現金寄付
広報（プロジェクト実施に必要な広報を除く） 賞品・景品
既に経費が発生している 他団体の運営費、管理費
プロジェクトに関連しない費用

【ポイント】★重要

- ・一つでも該当すると、申請がおりません。確認の上、該当する場合にはプロジェクト内容を練り直し、チェックがつかないことを目指下さい。
- ・判断に迷う際は、早期に地区補助金・VTT 委員会にご相談下さい。

B：下記項目に該当する場合は、プロジェクト実施に必要であるとの理由を記入してください。

物品の寄贈 飲食 クラブが参加するイベントへの協賛金
プロジェクト実施に必要な広報

神奈川県から参加するサムライ高等学校の生徒さんは1泊の行程であり、夕食、朝食、昼食が必要となります。

また、交流会では参加者が発言する機会があり、喉の渇きを予防するのに飲料水は必要なものになります。

【ポイント】★重要

- ・基本的に上記項目がないことが好ましい。上記項目がないように工夫ができないか検討下さい。
- ・上記項目を行う場合、プロジェクトの目的達成に必要かつ相当な負担であることを説明が必要です。
- ・特に、飲食、広報がプロジェクトの過程で含まれることが多いですので、ご注意下さい。

- 7 クラブ拠出金：プロジェクト費用の20%以上をクラブより拠出します。
プロジェクト実施後のクラブ拠出金余剰金は財団年次基金へ寄付します。
前年度、前々年度の次年度寄付が地区目標未達成の場合は拠出金増額要請に従います。

【ポイント】

- ・クラブ拠出金の要件や、余剰金の処理、財団寄付の状況について確認下さい。
- ・補助金は財源と交付のバランスの上で成り立っているため、公平性の観点から補助金の財源への貢献についてご了承頂きます。

- 8 クラブ承認：補助金申請のためのプロジェクト計画はクラブ理事会にて承認されています。

- 9 利害の対立：プロジェクトから利益を得る可能性のあるロータリアンがいます。
※上記項目に該当する場合は、該当者のお名前と役割を記入してください。

- 1 德川家康（戦国ロータリークラブ）宿泊施設（徳川ホテル）
理由：宿泊料金につき、近隣宿泊料相場に照らし、格別割引（待とうホトトギスプラン）を適用してもらっている。
不測のキャンセル対応においても、柔軟かつ基本的にキャンセル料なしで対応してもらえることになっている。

- 2 豊臣秀吉（戦国ロータリークラブ）交流会会場（豊臣ホール）
理由：会場予約、日程変更、時間変更等不測の対応につき、連携がとりやすい。
ホワイトボード、マイク、感染症対策などのための備品など無償提供頂ける。
料金は通常会議室の料金で、特別会議室「鳴かせようホトトギスの間」を貸して頂ける。

3 織田信長（戦国ロータリークラブ） 2日目昼食（十割そば織田）

理由：当人は、店舗を貸し切りにしてもらえることになっているため、運営がしやすい。

不測のキャンセル対応においても、柔軟かつ基本的にキャンセル料なしで対応してもらえることになっている。

神奈川の高校生のために、特別サービスで、地元産のデザート「鳴かぬなら殺てしまえホトギス」の用意をしてくれることになっている。

【ポイント】★重要

- ・ロータリーの人脈を利用するが多く、プロジェクトの過程で含まれることが多いですので、ご注意下さい。
- ・なぜロータリアンに依頼する必要があるのか、優位性について記載ください。

10 完了報告書：■ プロジェクト終了後 1 ヶ月以内、最終期限 2027 年 5 月 15 日までに提出します。

[プロジェクト提案] ■一般応募（補助金申請額 500,000 円以下）

□特別応募 クラブ単独（500,000 円超、1,000,000 円未満）

□特別応募 共同・グループ（500,000 円超、2,000,000 円未満）

11 プロジェクトの概要を記入してください。（800 文字程度 写真・イラストを使用しても結構です）

第1 プロジェクト発案の経緯

松下G大好きロータリークラブは、前年度の地区大会のホストクラブとして、サムライ高等学校を会場にして主催しました。この時は生徒さん及び先生方からの多くのご協力が有って成しえたものだと思います。加えて、当クラブの提唱するインターラクトクラブのある高校でもあります。このような当クラブとサムライ高等学校との繋がりの中で、高校生の関心が東日本大震災などの災害について特に関心が深いことが分かりました。また、松下ガバナー好きで繋がり、当クラブの友好クラブとなった戦国ロータリークラブは東北で活動しています。

そこで、戦国ロータリークラブと協力し、サムライ高等学校の生徒さんと東北のニンジャ高等学校の生徒さんと様々な交流を行うプロジェクトを行います。

第2 プロジェクトの狙いと具体的行程

お互いの文化を知り、若い世代がこれから防災や、日本のエネルギーを考えてもらう機会とします。

当クラブは、サムライ高等学校の生徒及び先生方から参加者を募ります。

人数は25名（希望者を学校が選抜予定）で、観光バスをチャーターして、東北を目指します。途中の被災地域を通過する際には、帰還困難区域の現状を説明します。バスの移動時間は片道6時間の予定で、車中にお弁当の昼食をとり、15時くらいよりニンジャ高等学校の生徒さんと合流して、様々な交流を（ロータリアンが生徒さんの意見を聞いて）企画して参りたいと思います。18時より会場を借りて、大交流会を開催致します。サムライ高等学校の生徒さん及び先生方25名くらいの参加者により、親交を深める良い機会にします。20時に交流会を終了し、生徒さんを宿泊施設にお送りして1日目の日程を終了します。

翌日はバスを利用して、津波の被災地、新しく建設された堤防、松下ガバナーゆかりの地、史跡や神社を訪問して、昼食（日本そばなど）をとり、14時頃に帰路に付きます。

当クラブ及び戦国ロータリークラブのロータリアンも多数自費参加します。

新学期にサムライ高等学校にて、ロータリアン参加での報告会を開催する予定です。



●松下ガバナーの祖先である東北の藩士松下彦左衛門 ●高校生たちの交流会（イメージ）

【ポイント】

- ・800字程度としていますが、厳密な制限ではなく、無理に文字数を合わせる必要はありません。
- ・写真、イラスト、図は具体的なイメージが湧きやすく、分かり易いため、使用するのがお勧めです。
- ・発案経緯、狙い、行程などトピックごとに、見出しを記載すると分かり易いです。

12 プロジェクト期間：2026年10月5日～2026年10月6日

（※2026年8月中旬以降開始～2027年5月10日終了のプロジェクトとしてください。）

地区補助金が振り込まれてからのプロジェクト実施を原則とします。

【ポイント】★重要

- ・補助金は通例8月中旬に入金が予定されています。補助金の入金前に支出が出来ないことになっていますので、プロジェクト実施は、8月を避けるか、その点に留意して計画下さい。（万一入金前に支出が避けられない等事情がある場合は財団補助金・VTT委員会にご相談下さい。）
- ・可能な限り、実施期間を具体的に特定下さい。難しい場合でも1ヶ月の範囲で特定下さい。（仮に申請後に実施時期の変更を要する事情があれば、委員会に相談の上、変更いただけます。）

13 プロジェクトの目的：

プロジェクトを実施することによって、どのような成果を得ることができるのか記入してください。

神奈川県でも松下Gの生誕の地（伊勢原）よりほど近い、サムライ高等学校の生徒さんに、松下Gの祖先である東北の藩士松下彦左衛門を知る事により、数々の松下Gの教えのルーツを理解してもらう。東日本大震災については、津波の被害や原発事故での放射能との闘い、風評被害なども理解してもらい、神奈川と東北の繋がりを感じ、お互いの文化も理解して頂き、交流を深めて、高等学校の若い世代の人達にこれから防災や日本のエネルギーを考えてもらえる機会とする、青少年奉仕事業です。

【ポイント】★重要

- ・審査結果を左右する重要なポイントです。プロジェクトで何がどのように変わらるのか？を意識して記載下さい。
- ・目的に「会員増強に繋がる」「ロータリーの公共イメージ向上に繋がる」との記載が散見されます。プロジェクトの副産物的結果となり得るものですが、プロジェクトの目的自体はロータリーのためであってはならないため、目的の記載においては記載しないでください。

14 受益者：

このプロジェクトで恩恵を受ける人や地域（受益者）の具体的な情報を記入してください。

例：恩恵を受ける人達の人数、対象となる人や地域が抱えている課題、プロジェクトによって改善や解決できる問題点、受益者からの要望、等

サムライ高等学校の生徒さん、ニンジャ高等学校の生徒さんが、お互いの文化を知り、交流を深めてもらうことを一番の目的としています。従って、受益者は高等学校の生徒さんになります。

人数では、サムライ高等学校の生徒さんが20名強、ニンジャ高等学校の生徒さんも20名強になると想います。東北は東日本大震災では多くの津波での被害も出ましたが、現在では復興も進み日本最大規模のエネルギーに関する施設が出来るなど、目覚ましい発展を遂げております。

サムライ高等学校の生徒さんがこれらの見聞を持ち帰り、広く発表することで東北の復興をアピール出来ると思います。また、震災時は学校から帰宅させた事により、自宅で津波さらわれた友達も多く、小学生だった高校生の心のケアにも、同世代の交流は素晴らしいものになると思います。

【ポイント】

- 目的が的確かつ明確に設定されていれば、自ずと受益者は明らかになります。目的との整合性に注意下さい。

15 他団体が実施している同様のプロジェクトはありますか？： ある ない
「ある」の場合、実施しているプロジェクト名、実施団体、貴クラブが実施する理由を記入してください。

【ポイント】

- 他の団体で同様のプロジェクトがある場合、ロータリーが行う必要性の低下、意義が曖昧となるため、理由を他の団体のプロジェクトと対比し、目的、場所、効果などの観点からの違いを意識して理由を記載下さい。

16 実施場所： ●●県●●市周辺 ニンジャ高等学校及び市内の多目的ホール

17 実施場所の選択理由： 震災、松下ガバナーに関する史跡が上記実施場所に存在するため

18 予算：

① プロジェクト総費用予定額： 805,050円

② 地区補助金申請額： 500,000円

③ クラブ拠出金額： 305,050円 37.9%（※プロジェクト総額の20%以上）

④ 内訳（地区補助金を含む全ての内訳）

※分類は、1行あたりどちらしかチェック出来ません。同一内容でも両方（補助金・クラブ拠出金）からの支出になる場合には複数行にわけて記入して下さい。

分類	内容	数量	単位	単価	金額
■補助金 □クラブ拠出	貸切バス交通費	1	1	302,250	302,250
■補助金 □クラブ拠出	宿泊費 高校生分	25	1	7,910	197,750
□補助金 ■クラブ拠出	〃 ロータリアン分	5	1	7,910	39,550
□補助金 ■クラブ拠出	旅行傷害保険	30	1	120	3,600
□補助金 ■クラブ拠出	諸費用 その他項目 別紙見積の通り	1	1	102,900	102,900
□補助金 ■クラブ拠出	交流会場費、設営費 別紙見積の通り	1	1	159,000	159,000
合計					805,050円

※見積書の提出は申請時に不要です。ただし、詳細な項目および精度の高い見積金額を記載してください。

曖昧な予算提示は選考結果に影響します。（地区委員会より見積書の提出を求める場合があります。）

【ポイント】★重要

- 予算に掲げる支出内容に、支出できない項目（ロータリアンの飲食等「6制約事項の確認」記載の制約事項に関する支出）が記載されていないか注意下さい

19 プロジェクトにはどのようにロータリアンが積極的に参加しますか？

松下G大好きロータリークラブの会員は、5人はバスに同乗しますが、その他の会員は会員の車や公共交通機関で移動し、参加します。

当クラブ、戦国のロータリアンが交流、交流会共に企画を行い自費（特別会費）での参加をします。

20 プロジェクトをどのような方法で一般の人々に広報しますか。

神奈川のタウンニュース等の地方紙に実施の情報提供を行い、取材を誘致する。

東北の地方紙にも同様にお願いする。

当クラブのホームページやSNSフェイスブックなどにも掲載を行う。

【ポイント】

- 広報のための支出は原則として認められません。有料の広報についてはその必要性について「6制約事項の確認 B」で説明下さい。

21 本プロジェクトに協力団体が関与する場合は、協力団体名を記入してください。また、活動にあたっての責任事項とプロジェクトにおいてどのようにロータリアンがその団体と協力し合うことになるかを明記してください。

協力団体： 団体はありませんが、1600地区戦国ロータリークラブと協力して行います。

22 プロジェクトの連絡担当者 ※全ての項目が入力必須となります。

担当者名	上杉謙信
クラブでの役職	プロジェクトリーダー
住所	〒●●●●-●●●●● 神奈川県藤沢市●町●一●一●
電話番号	090-●●●●●-●●●●●
FAX番号	0466-●●-●●●●●
E-mail	bishamonten@gmail.com

【ポイント】★重要

- 連絡がとりやすく、プロジェクト情報を把握しやすい立場の方を指定下さい。
- 連絡が間接的となるため、クラブ事務局を指定することは避けてください。
- 即時の連絡のために電話番号を、書面等データのやり取りをするのにE-mailを必ず記載してください。また、確実に連絡が取れる番号、アドレスを指定して下さい。

23 本プロジェクトに関与する全てのロータリークラブは下記に署名することにより、地区ロータリー財団委員会に対しプロジェクトの活動内容に責任を持ち、活動内容・資金管理の報告を行う義務があります。地区補助金申請書の全ての記載事項が真実であり、正確であることを確認することになります。

24 前年前々年度年次寄付達成率 2023-24 年度 一人当たり 200 ドル 達成率 100 %
(地区目標一人当たり 200 ドル) 2024-25 年度 一人当たり 230 ドル 達成率 115 %
今回補助金申請を行う松下 G 大好きロータリークラブは年次寄付達成率 100%を目指します。

【ポイント】

- ・公平性の観点から現時点での補助金の財源への貢献の確認、今後の協力についてご了承頂きます。

松下 G 大好きロータリークラブ会長並びに会長エレクトとして、私達は、ここに当クラブがクラブの奉仕活動として本プログラムを実施することを決定したことを確認いたします。

2025-26 年度会長 上杉謙信 署名 _____ 年 _____ 月 _____ 日

2026-27 年度会長 上杉景勝 署名 _____ 年 _____ 月 _____ 日

【ポイント】

- ・記載した申請書のワードデータはメールで送り、地区財団補助金・VTT 委員会の確認し、申請内容に修正が必要ないことを確認後ご連絡いたしますので、委員会からの連絡後に、会長・会長エレクトに署名頂き、郵送でガバナー事務所に送付下さい。

25 2026 年 4 月 15 日に開催される選考会会場にてプレゼンテーション（5 分間）を希望しますか？

希望する（申請順により 10 クラブ：特別応募を優先します。） 希望しない

【ポイント】

- ・審査者の疑問解消や、書面では伝えきれないプロジェクトの魅力を伝える機会ですので、積極的にプレゼンテーションをご活用下さい。

26 メール申請： ここまで申請項目をパソコン入力しました、ファイル添付にてメール申請します。

※メール申請時に署名は不要です。

メール送信後、地区補助金・VTT 委員会にて確認し、申請内容に修正が必要ないことを確認後、ご連絡いたしますので委員会からの連絡後に会長、会長エレクトの署名のある原本を郵送でガバナー事務所に送付下さい。委員会の確認前に送付しないようにご注意下さい。

メール送付先は、ガバナー事務所

g-office@rid2780.gr.jp